

学校長 殿
理科担当主任教諭各位 殿

平成 29 年 度

公益財団法人 齋藤憲三・山崎貞一顕彰会研究助成募集要項



TDK創立者
齋藤憲三先生

(明治31年2月11日～昭和45年10月31日)



TDK育ての親・当財団創設者
山崎貞一先生

(明治42年8月5日～平成10年11月20日)

公益財団法人 齋藤憲三・山崎貞一顕彰会について

齋藤憲三先生（秋田県にかほ市平沢出身、TDK株式会社創立者）は、生涯科学技術の振興に努められ、その研究と実践に情熱を傾けて多大の功績を残されました。当公益財団法人は先生の高風を敬慕し、その事蹟を顕彰するとともにその意志を継ぎ、故前理事長山崎貞一（TDK株式会社2代目社長）が中心となって昭和46年に設立されたものであります。

齋藤憲三先生の終生の念願であった科学技術の向上発展のためには、まず、少年時代から“科学する心”の芽を育成することが最も効果のあるものと考え、当公益財団法人はその事業の一つとして、秋田県の科学教育振興のため、毎年県内の小・中・高等学校・特別支援学校が推進する児童・生徒のグループ研究と教員の個人指導に対して助成金を贈呈しております。

平成29年度グループ研究の助成校及び教員の個人研究助成を別記要項により募集いたしますので、当公益財団法人の趣旨をご理解の上、是非応募活用下さるようご案内申し上げます。

平成29年4月

公益財団法人 齋藤憲三・山崎貞一顕彰会

目 次

グループ研究助成募集要項	1
“グループ研究”助成申込書	4
助成研究報告書（グループ研究用）	7
グループ研究報告書要領	8
研究報告書見本	9
個人研究助成募集要項	10
“個人研究”助成申込書	11
助成研究報告書（個人研究用）	14
指導者の皆様へ	15
平成26年度 研究助成金助成校一覧	18
平成27年度 研究助成金助成校一覧	21
平成28年度 研究助成金助成校一覧	24

[別表] 研究助成状況①（昭和47年度～平成15年度）
研究助成状況②（平成16年度～平成28年度）

グループ研究助成募集要項

1. 応募資格

秋田県内の国公立小・中・高等学校（特別支援学校・定時制校等を含む）で児童・生徒の科学・技術する心の育成に、意欲的に取り組む学校であり、本年度のテーマを持って、研究活動しようとする児童・生徒のグループ。

2. 研究課題

自然科学等理科に係わる具体的なテーマであること。（理科の学習指導要項にあげられている内容そのものの研究よりも、それらに関連する問題を、更に深く掘り下げるとか、あるいは、郷土の自然に関する研究テーマ等がのぞましい。）

但し、高校の場合は、工業・農業・水産・家庭等に関する専門分野の研究テーマでもよい。

3. 助成研究の期間

助成研究の期間は、毎年4月1日から翌年1月25日までとします。

なお、継続的な課題研究であっても、1か年を区分とします。

4. 応募方法

当研究助成を希望される学校は、当会の、所定の応募用紙により、期限までに、申込み手続きをして下さい。（同一校からの応募は2件の場合は、必ずクラブ名を変えて下さい）

申込み・・・・・・・・・・・・・・・・別紙、様式-1①~③

(1) 期 限 5月11日(木) 必着のこと

(2) 記入内容

- ① 学校の概要と研究グループ及び研究形態
- ② 研究課題にその趣旨（簡潔に）
- ③ 助成金の使途内訳
- ④ 具体的な研究実施計画

(3) 応募書類の提出部数 顕彰会事務局用 1部 + 選考委員配布用 12部 = 計 13部

5. 助成校の選定と通知

当会の選考委員会で、審査の上、決定する。

その結果は、速やかに学校長宛に通知します。（5月下旬）

6. 助成校数及び助成金額

小 学 校	1 件当り	5 万円まで	10 件(校)程度
中 学 校	〃	10 万円まで	15 件(校)程度
高 等 学 校	〃	13 万円まで	30 件(校)程度
特別支援学校	〃	(小・中・高等学校に準ずる)	

本研究助成金は、債券（国債、社債等）の運用利息の収入で運営していますが、日本銀行の異次元の金融緩和政策及びマイナス金利導入の影響を受け、当顕彰会の収入が減少する非常に厳しい環境下にあります。

齋藤憲三先生の遺訓「科学する心」を後世に継承して行くために、今後金融市場が正常化するまでは、収入に見合った事業運営のため助成事業が縮小しますが、今まで同様に秋田県内の小・中・高校の理科教育に貢献して参りますのでご理解とご協力の程宜しくお願い申し上げます。

7. 助成金の使途

助成金は、研究課題の研究過程において、必要な器具、参考資料、交通費等諸経費に充当のこと。

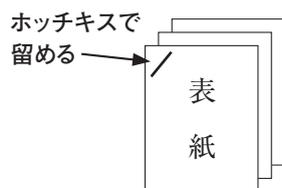
8. 研究結果の報告

助成研究は、翌年 1 月 25 日(木)までに、下記様式による研究報告書を、当会へ提出する。

継続研究の場合は、当年度 1 か年の研究報告書を提出する。

- 1) 表紙（別紙、様式－2①）には、下記内容を明記し、次の報告概要を付して提出する。
 - (1) 研究課題
 - (2) 学校名とクラブ名及び研究形態
 - (3) 指導教諭名
 - (4) クラブ生徒氏名及び写真貼付
 - (5) 学校長氏名及び学校長印
- 2) 報告概要（別紙、様式－2②）は研究報告書要領（P 8）により、下記事項を作成する。
 - (1) 研究の動機、目的またはねらい
 - (2) 研究のすすめ方、実施の方法及び経過内容
 - (3) 研究成果とまとめ
 - (4) 反省と今後の課題
 - (5) その他付記
 - ① 参考文献
 - ② 他団体への発表実績及び受賞状況
 - (6) 会計報告（領収書は不要）

3) 報告書の綴込み方法



指定の表紙（様式-2①）をつけて、最後尾のページに会計報告を入れて下さい。

報告書をファイル及びケースに入れないうご注意願います。

4) 研究報告書の提出部数 顕彰会事務局用 1 部 + 選考委員配布用 12 部 = 計 13 部 (下記 注：1 参照のこと)

注：1. 事務局用及び選考委員への報告書に用いた写真・図表・スケッチ・地図等は、印刷製本ができる程度の正確さ・鮮明さを有するものとします。

2. 課題研究を中止とするときは、当会に通知し、助成金の返還を要することに留意して下さい。

9. 特 典

優秀な助成校に対しては、後日厳選の上、齋藤憲三・山崎貞一奨励賞として、賞状と共に、奨励金並びに記念の楯を贈り表彰する。

10. 参考（研究助成プロセス）

- | | |
|--------------------|--|
| 1) 研究助成校募集期間 | 4月10日～5月11日 |
| 2) 研究助成申込書類提出期限 | 申込み5月11日(木) 必着厳守のこと |
| 3) 助成の決定、助成金交付 | ・助成の決定は5月下旬
・助成金交付は、研究助成認定証交付式
(6月16日(金) 於 秋田ビューホテル) |
| 4) 助成研究の現地視察指導 | 9月4日～15日 |
| 5) 助成研究報告書提出期限 | 平成30年1月25日(木) |
| 6) 齋藤憲三・山崎貞一奨励賞の選考 | 平成30年2月16日(金) |
| 7) 齋藤憲三・山崎貞一奨励賞の授賞 | 平成30年3月16日(金)
齋藤憲三・山崎貞一奨励賞授賞式
(於 秋田ビューホテル) |

[申込先]

〒018-0402 秋田県にかほ市平沢字立沢200番地

TDK株式会社 にかほ工場北サイト

公益財団法人 齋藤憲三・山崎貞一顕彰会事務局 佐藤敬一

TEL (0184) 35-6543 又は35-6515

FAX (0184) 35-6543 又は35-6586

ホームページアドレス：<http://www.saito-kenzo.jp>

メールアドレス：info@saito-kenzo.jp

受付日	平成 年 月 日	番号	No.
-----	----------	----	-----

採	否
---	---

公益財団法人 齋藤憲三・山崎貞一顕彰会

理事長 巴 徳 雄 殿

公益財団法人 齋藤憲三・山崎貞一顕彰会 “グループ研究” 助成申込書

平成 年 月 日提出

(1) 学校の概要と研究グループ				
学 校 名				
所 在 地	〒 _____			
	T E L No.			
	F A X No.			
児 童 生 徒 数	学級数		教員数	
研究グループ名			グループ 構成数	年生 人 年生 人 年生 人
研究形態 <small>(☑チェックを入れて下さい)</small>	<input type="checkbox"/> 授業 <input type="checkbox"/> 課外 <input type="checkbox"/> その他 ()			
指 導 教 員	氏 名	専 攻 科 目	校 務 分 掌	担 当 ク ラ ブ
	(1)			
	(2)			
	(3)			
貴会の研究助成募集要項に基づき申込みます <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;"> 学校長氏名 _____ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; width: 150px;"> 学校長 印 </div> </div>				

(2) 研究課題とその要旨

イ. 研究課題

ロ. 研究課題の要旨（動機、ねらい、目的等）

(3) 助成金の使途内訳（具体的に）

助成申請額 万円

(4) 具体的研究実施計画

平成 29 年度

公益財団法人齋藤憲三・山崎貞一顕彰会 助成研究報告書 (グループ研究用)

平成 年 月 日提出

研究課題：
〔新規・継続〕

学校名及び クラブ名：	指導の先生と部員メンバーの 写真を貼付下さい
研究形態： <input type="checkbox"/> 授業 <input type="checkbox"/> 課外 (☑チェックを入れて下さい) <input type="checkbox"/> その他 ()	
指導教諭：	
生徒氏名： (代表) (年生)	
(年生) (年生)	
(年生) (年生)	
(年生) (年生)	
(年生) (年生) (年生) (年生)	

貴会より助成を受けた上記研究の成果を報告します
学校長氏名 _____
公益財団法人 齋藤憲三・山崎貞一顕彰会 理事長 巴 徳 雄 殿
<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 80px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 学校長 印 </div>

— グループ研究報告書要領 —

1. 助成研究報告書は、次の要領で作成し、表紙（様式 - 2 ①）に付して提出する。

- (1) 用紙は A 4 サイズで、縦長、横書きとする。パソコン、ワープロ可。
A - 4 版手書きの場合必ずしも 400 字でなくてもよい。
- (2) 枚数は、文字、図表、写真類を含め 20 ページ以内に収まる枚数とする。
(1 ページには、横 23 字×縦 37 行の 2 段組で 1,702 字入る。—— 見本添付 (P 9)
従って、図表、写真類を含め、1,702 × 20 ページ以内に収めてください。)
- (3) 図、グラフ、コンピュータのプリント、写真類はできるだけ精選し、鮮明なものを用いる。
- (4) 指導された先生と部員メンバーの写真を表紙に貼付下さい。

2. 報告書の内容は、概ね、つぎの項目をもって構成する。

但し、必要に応じ、各項目の中を、適宜細分してかまわない。

- (1) 研究の動機、目的又はねらい（研究テーマの設定した事由と目的又は、ねらい、なお、継続テーマの報告のときは、前年までの研究概要も、要領よく記入する。）
- (2) 研究の進め方、実施の方法及び経過内容（どんな研究のやり方や考え方をもち、この課題に取組み推進しようとしたかを記し、研究の構想に添って、進められた具体的研究の方法、プロセスとその結果を、順を追って記す。又、必要に応じて図示、写示、項目を細分して説明する。）
- (3) 研究成果とまとめ（まとめとして、研究の完了結果と帰結、考察の結びを記す。）
- (4) 反省と今後の課題（研究の課題を振り返って、設定課題に対する成果が、十分に満足出来るものであったかどうかの反省と、残された課題や、更に、追求する為の課題につき記す。）
- (5) イ. 参考文献（研究を推進するに当たって、参考に付した文献を明記する。）
ロ. 研究発表実績及び受賞可否（当該研究につき、他団体に報告、発表、受賞の実績がある場合、その発表形態、時期、団体名、入賞結果を列記する。）
- (6) 会計報告（具体的に、支出の項目と金額を列記する。領収書は不要。）

以上

研究報告書見本

23字×37行×2段=1,702字

← 23字 →

← 23字 →

1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	

1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	

個人研究助成募集要項

1. 応募資格

秋田県内の小・中・高等学校（特別支援学校・定時制校・高専等を含む）の理科学担当教育で、その職にあり、自然科学等（高校教員の場合は、工業・農業・水産・家庭等に関する専門分野の研究でもよい）に関する研究をしている者。又、意欲的にしようとしている者。

2. 研究課題

自然科学等に関する研究テーマであること。

但し、自己の資質を高め、以後の教育指導に役立つものであること。

3. 助成研究期間

原則として、翌年1月25日(木)までとする。

但し、研究課題の内容によっては、2～3年継続助成することもある。

4. 応募方法

当会所定の応募用紙（別紙様式－1 A～C）、所定事項を記入の上、申込みを行う。

その他応募方法は、グループ研究募集要項に同じ。

5. 助成研究者の選定と通知

グループ研究の選定と通知に同じ。

6. 助成件数と助成金額

1) 助成件数・・・3～5件

2) 助成金額・・・1件当たり 8万円まで

7. 助成金の使途

グループ研究の使途に同じ。

8. 研究結果の報告

研究結果の報告は、（様式－2 A）の表紙に、報告事項を適宜作成の上、報告する。

報告事項については、グループ研究募集要項に準ずる。

〔申込先〕 〒018-0402 秋田県にかほ市平沢字立沢200番地 TDK株式会社 にかほ工場北サイト

公益財団法人 齋藤憲三・山崎貞一顕彰会事務局 佐藤敬一

TEL (0184) 35-6543 / FAX (0184) 35-6543 又は35-6586

ホームページアドレス：<http://www.saito-kenzo.jp>

メールアドレス：info@saito-kenzo.jp

受付日	平成 年 月 日	番号	No.
-----	----------	----	-----

採	否
---	---

公益財団法人 齋藤憲三・山崎貞一顕彰会

理事長 巴 徳 雄 殿

公益財団法人 齋藤憲三・山崎貞一顕彰会 “個人研究” 助成申込書

平成 年 月 日提出

(1) 申込者身上					
(ふりがな) 申込者氏名	() 印	性別	年令	満	才
勤務先名 (学校名)		職名			
勤務先所在地	〒 _____ TEL No. FAX No.				
学歴 (最終)					
職歴					
研究歴					
上記申込者の研究は、貴会の助成対象にふさわしいものと認め推薦します					
学校長氏名 _____				<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 80px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 学校長 印 </div>	

(2) 研究課題とその要旨

イ. 研究課題

ロ. 研究課題の要旨（動機、ねらい、目的等）

(3) 助成金の使途内訳（具体的に）

助成申請額 万円

(4) 具体的研究実施計画

平成 29 年度

公益財団法人齋藤憲三・山崎貞一顕彰会 助成研究報告書 (個人研究用)

平成 年 月 日提出

研究課題：

[新規・継続]

研究期間： 平成 年 月 ～ 平成 年 月

貴会より助成を受けた上記研究の成果を報告します

所属名：

研究者氏名：

印

学校長氏名：

学校長
印

公益財団法人 齋藤憲三・山崎貞一顕彰会

理事長 巴 徳 雄 殿

指導者の皆様へ

秋田県教育委員会

平成29年度春の「公益財団法人齋藤憲三・山崎貞一顕彰会研究助成」の募集に対して、クラブ活動、部活動、総合的な学習の時間の学習グループ、及び選択教科理科の研究グループなどから積極的に御応募いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

また、公益財団法人齋藤憲三・山崎貞一顕彰会の支援の基に県教育研究会理科部会が毎年秋に主催している全県児童生徒理科研究発表大会において、各校のグループ又は個人が地道に行っている研究成果を発表することも、子供たちの科学への夢を膨らませ、探究心の向上を保障する機会となっております。

この機に、秋の発表に向け、春から計画的に研究活動を進め、じっくりと取り組むことができるよう支援するとともに、率先して発表会に参加して意見交換することが期待されます。

自由研究の進め方

1 テーマを見付ける

テーマはこんなところにあります。

- ①授業の中で疑問に思う ②校内外を歩く ③人（友達や家族、先生に聞く）
- ④家の外に出る ⑤テレビを見る ⑥インターネット（ホームページ）で調べる
- ⑦遠足や社会見学で不思議に思う……など。つまり、どこにでもあるということです。

子供は、「熱しやすくさめやすい」のが当たり前です。いったん選んだ以上はこれを自分の問題として強く認識し、自力で探究していこうと努力する気持ちをもたせるために、テーマを決定するまでの留意点として

- (1) 教師は、日頃から理科の授業などを通して、子供自身が日常の事象を一応疑ってみる力を身に付けさせ、自然の物事・現象の中に不思議さを感じることができるよう感性を磨いてやる。
- (2) 子供が疑ってみたことに対して、教師も同じ目線で一緒に調べていくよう心掛ける。
- (3) 子供の強い興味に合致したテーマの選定や、個に応じたテーマを設定できるよう助言する。
- (4) 研究途中の激励や探究方法の発見に協力するなどの支援よりも、テーマ決定時に「郡市理科研究発表会で発表する」あるいは「○△科学論文コンクール」に出品するなどの途中駅や終着駅の目標をもたせるようにする。

このような教師の支援があって、初めて子供は自発的に努力するようになり、また、こうして得た結果味わう成功感や充実感は、体験者だけが感得できるものであって、これが、次のステップに強い探究意欲となって現れてきます。

これまで、全国のトップクラスの評価を受けた他県の中高生の研究例として、次のようなものがあります。

- ・「砂時計をひっくり返すと砂が全部落ちるまでの時間が違うのは、なぜ？」
- ・「スパゲッティが中央で折れないわけ？」

- ・「リンゴのあくはなぜできるの？」
 - ・「カタツムリの筋肉はどんなふう動く？キャタピラのようにになっているのかな？」
 - ・「スルメを焼くとどうして決まった方にめくれあがる？」
 - ・「〇〇地方に雷が落ちやすいのはなぜ？」
- よいテーマは、意外と身近で誰もが注目しそうなものであるという共通点をもっています。

2 研究の進め方

(1) 研究の計画を立てる

①何を（何のために＝どんな目的で） ②いつ ③どこで ④どうやって（研究の方法）

(2) 気付いたことはノートに記録する→観察・実験のことだけでなく必要事項を全部メモする

(3) 観察・実験をする

①順序よくやる→簡単に結果の出るものは繰り返し行う。

②比べるときは条件を考える→一つのことを比べるときは他の条件をすべて同じに→条件制御

③より正しく記録するために、利用できる機器をすべて利用する（カメラ、ビデオカメラ…）

3 研究のまとめ

(1) まとめる手順

(例)

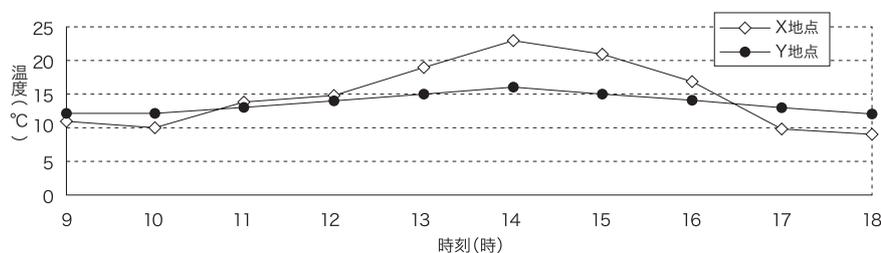
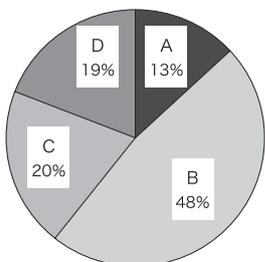
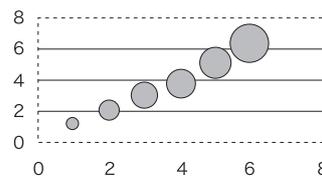
<ul style="list-style-type: none"> ・「きっかけは何なのか…生起している現象は、今まで学んだどんなことと関係があると考えたのか」 ・「気付いたこと、はっと思ったことから、どんなきまりを思い浮かべ、何と関係がありそうだったのか」 	<p>1 研究の動機 ○○○○○○○○○○○○</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・「自分が何をどのように調べようとしたのか」 ・「どんなことをねらい、何をはっきりさせたかったのか」 	<p>2 研究の目的 ○○○○○○○○○○○○</p>
<p>※調べたことが複数ある場合は、内容ごとに方法と結果を載せる</p>	<p>3 研究のすすめ方 ○○○○○○○○○○○○</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・「何を調べるためにどんな方法で行ったのか」 	<p>4 研究の方法 ○○○○○○○○○○○○</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・「結果はどうなったのか→グラフや表を使って…」 ※調べたことを全部表す必要はない→6につながるもののみ示す 	<p>5 研究の結果 ○○○○○○○○○○○○</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・「研究の結果から何が分かったのか」 ※分かったことは、読み手に伝わるよう分かりやすく簡潔に表す 	<p>6 研究のまとめ (わかったこと) ○○○○○○○○○○○○</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・「この部分がまだよく分からない」 ・「このところをもっと調べたい」 	<p>7 反省と今後の課題 ○○○○○○○○○○○○</p>

(2) まとめ方

- ①ノートやレポート用紙にまとめる（図表はのりで貼る）
- ②原稿用紙にまとめる（子供自身がワープロソフトで打つ）
- ③アルバムを使ってまとめる→分かりやすい
- ④模造紙にまとめる→研究発表会における一般的な方法→OHP
- ⑤ビデオ（物体の動きや動物の行動などコマ送りするのも一手段）
- ⑥パソコンのプレゼンテーションツールでまとめる→それだけで分かりやすいが、音声を吹き込んだものを作ると「発表」そのものを記録として残すことが可能になる。

(3) 図表や資料はもっとも適切なものを

- ①割合だったら、円グラフや帯グラフ
- ②時間を追っての変化だったら、折れ線グラフ
- ③二つの比較だったら棒グラフ…など適切なものを使う

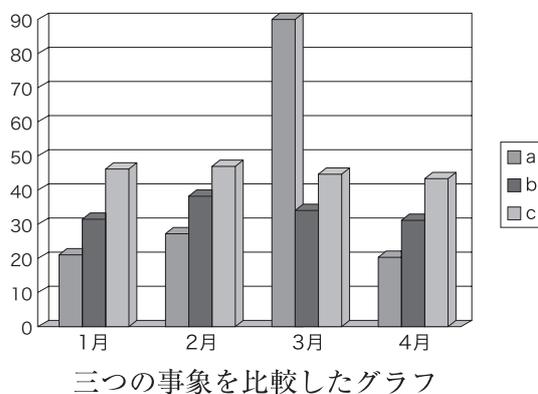


最大の秘訣は→迫力のある決定的な写真



いなずまの様子

インパクトのある分かりやすい図表



三つの事象を比較したグラフ

平成26年度 研究助成金助成校一覧 齋藤憲三奨励賞受賞校 ★特別賞 ●金賞 ◎銀賞 ●銅賞

区分	No.	賞	学校名・クラブ名	研 究 課 題	助 成 金
小 学 校	1	●	秋田市立旭北小学校 理科好き探検隊	植物に学ぼう！	100,000円
	2		大仙市立大曲小学校 曲小電気エネルギー班	発光ダイオードや白熱電球で発電はできるの？	100,000円
	3	◎	仙北市立西明寺小学校 「くりっこ サイエンスクラブ」	「教科書の実験方法では正しい値が出ない！？ 水が100℃で沸騰しない不思議」	100,000円
	4		由利本荘市立石沢小学校 石っこ探検隊	石沢地域に見られる石にはどのような特徴が見られるのか	100,000円
	5	●	にかほ市立平沢小学校 サイエンスクラブ回転鏡班	太陽焦熱炉の製作とその熱の利用	100,000円
	6		にかほ市立象潟小学校 サイエンスクラブ	砂糖の謎を解く	80,000円
	7		にかほ市立院内小学校 科学クラブ	乾燥食品のひみつを探る	80,000円
	8	◎	にかほ市立上浜小学校 サイエンスクラブ	デンプンのりの研究	100,000円
	9		にかほ市立上郷小学校 サイエンスクラブ	奈曽川河川公園に生息する水生生物の研究	80,000円
	10		にかほ市立金浦小学校 科学クラブ	「固まる」不思議を探る	100,000円
	11		横手市立朝倉小学校 科学部	「増やそう、エゾタンポポ II」	100,000円
中 学 校	1	◎	由利本荘市立出羽中学校 科学部	「ク音」の是非 ～ピンから出る音の秘密～	150,000円
	2		由利本荘市立本荘北中学校 科学部	よく飛ぶ飛行機をつくるには	150,000円
	3	◎	由利本荘市立西目中学校 科学部	ブナの葉の神秘	150,000円
	4		由利本荘市立本荘南中学校 科学部3年	サボニウス型風力発電機の効率をよくするには？	150,000円
	5	★	にかほ市立金浦中学校 「根回り穴」の秘密追究委員会	「根回り穴」の秘密	150,000円
	6		にかほ市立仁賀保中学校 理科部	仁賀保中の吹きだまりを科学する	150,000円
	7		大仙市立大曲中学校 科学部	バイオエタノールの良い発生条件とは？ ～米ぬかを原料としての探究 Part 2～	150,000円
	8	●	大仙市立西仙北中学校 科学部	過冷却水でできる氷筍の形や高さの条件Part 2 ～より大きい氷筍をつくるための方法～	150,000円
	9		美郷町立美郷中学校 総合科学部	トミヨ属雄物型の研究 Part 3 ～ハリザッコの繁殖を目指して～	150,000円
	10	◎	横手市立横手明峰中学校 科学部	電球の秘密にせまる ～「まぶしさ・色・虫」の関係～	150,000円
	11		横手市立横手南中学校 科学部	ひもの真の底力 ～ひもの強度とそれを変化させる条件は何か～	150,000円
	12	●	横手市立横手北中学校 科学部	突沸の科学 ～突沸が起きるとき、起きないとき～	150,000円
	13		横手市立平鹿中学校 科学部	微生物(天然酵母)を利用した食品の発酵につ いての研究	150,000円
	14	●	横手市立十文字中学校 科学部	コウジカビによる発酵の特性の探究～米から甘 酒ができる条件とは～	150,000円
	15		県立横手清陵学院中学校 自然科学部野鳥班	横手市で集団繁殖するサギ類の研究	150,000円
	16		県立横手清陵学院中学校 自然科学部魚類班	横手川に生息する魚類の研究	150,000円

区分	No.	賞	学校名・クラブ名	研 究 課 題	助 成 金
	17		羽後町立三輪中学校 光合成プロジェクトチーム	植物の特性と光合成量の関係	100,000円
高 校	1	◎	県立大館鳳鳴高等学校 生物部	モデル生物の形質に着目した遺伝的多様性変動の研究 その2	190,000円
	2		県立大館鳳鳴高等学校 化学部	フラボノイド色素を用いた太陽電池	200,000円
	3	●	県立大館国際情報学院高等学校 科学部	鹿角地区に伝わる古代紫紺染めについて	200,000円
	4		県立十和田高等学校 ふるさと教育「かつの学」鹿角発 地域ブランド農産物研究グループ	鹿角発のブランド農産物「北限の桃」の生産構造と流通形態	200,000円
	5		県立能代高等学校 理数科2年課題研究 物理班	モデルロケットの製作および打ち上げ	200,000円
	6		県立能代高等学校 理数科2年課題研究 木材班	廃材から紙づくり	200,000円
	7		県立秋田北鷹高等学校 農業クラブ	世界へ羽ばたけ！秋田北鷹ケイボン～比内地鶏去勢鶏の高級ブランド化を目指して～	200,000円
	8		県立秋田北鷹高等学校 科学部	R2（ロケット&ローバー）プロジェクト～セカンドステージ～	200,000円
	9		県立男鹿海洋高等学校 マリンスポーツ部	アカモク（Sargassum horneri）の効率的な増殖に関する基礎研究Part 2	200,000円
	10	●	県立男鹿海洋高等学校 課題研究 製作班	廃品を活用した水力発電装置の製作Part 1	200,000円
	11		県立秋田中央高等学校 躍進探究部	つちざき散策map ～iosを利用した組み合わせ最適化の数学的処理～	200,000円
	12	◎	県立秋田中央高等学校 躍進探究部	インスタント・セッケン～油脂の簡単けん化～	200,000円
	13	●	県立秋田北高等学校 数理探究クラス2年F組(動物)	ウミホタルの生態を解明する	200,000円
	14		県立秋田北高等学校 数理探究クラス2年F組(植物)	植物の成長についての基礎実験	200,000円
	15		県立秋田南高等学校 自然科学部食品保存料グループ	食品保存料ナイシンの有効的な利用方法についての研究(3)	200,000円
	16	●	県立秋田南高等学校 自然科学部 香料グループ	香料の突然変異抑制効果に関する研究	200,000円
	17		県立金足農業高等学校 科学部・ヤマビルプロジェクト	個体忌避剤開発研究	200,000円
	18	◎	県立新屋高等学校 理科研究部	秋田市塩曳潟における希少淡水魚の生態の研究	200,000円
	19		県立由利工業高等学校 科学部	鳥海山をもとにした観天望気 Part 2	200,000円
	20		県立由利工業高等学校 ロボット研究部	エコカーにおける走行抵抗の研究3	200,000円
	21		県立本荘高等学校 科学部	色素増感太陽電池の研究 その2	200,000円
	22	◎	県立本荘高等学校 科学部	陽極酸化皮膜の応用	200,000円
	23		県立仁賀保高等学校 世界ふしぎ発見「フジツボ隊」	「新たな外来フジツボperforatus perforratesの秋田県北部以北における分布調査」	200,000円
	24		県立大曲工業高等学校 D.K. Rockets	モデルロケットに関する研究Ⅱ	200,000円
	25		県立大曲工業高等学校 マイクロバブルによるプールの浄化グループ	マイクロバブルによるプールの浄化	200,000円
	26		県立大曲高等学校 生物部発酵グループ	発酵(甘酒)の研究	200,000円

区分	No.	賞	学校名・クラブ名	研 究 課 題	助 成 金
高 校	27		県立大曲高等学校 生物部グッピーグループ	グッピーの行動に視覚情報が与える影響について	200,000円
	28		県立大曲農業高等学校 田沢湖水質改善研究チーム	田沢湖の湖底調査に関する研究	200,000円
	29	●	県立増田高等学校 農業科学科生物工学専攻班	麴を僕らの世代に Ⅲ ～発酵文化の継承～	200,000円
	30	◎	県立横手清陵学院高等学校 総合技術科 情報通信技術研究班	災害時に「灯り」と「情報」をいち早く得るための技術について ～みんなの安心のために、身を守ることを科学する～	200,000円
	31		県立横手清陵学院高等学校 「探究/自然科学部」霧箱班	霧箱の性能評価法の開発	200,000円
	32		県立湯沢翔北高等学校 課題研究ロボット班	サイズの異なる円筒物の取り込みと発射機構を 備えたロボットの製作	200,000円
	33		県立湯沢翔北高等学校 課題研究歯車研究班	無段変速機を利用した制御の研究	200,000円
個 人	1		須田 宏 県立大曲工業高等学校	小規模な小学校・中学校における出張授業の実 践に関する研究	100,000円
	2		高橋健一 秋田大学教育文化学部附属小学校	理科における道德教育の適切な指導という視点 に立った理科の授業改善	100,000円
	3		高橋 正義 県立秋田きらり支援学校	どこでもスイッチ“OAK”で肢体不自由児の 生活を支援する	100,000円
	4		能美 佳央 秋田市立御所野学院高等学校	科学的思考力を高める教材開発およびその指導 法の工夫	100,000円
	5		松田 義徳 県立横手清陵学院高等学校	「秋田県のバイオーム」を学習するための画像 製作	100,000円
	6		伊藤 健一 県立横手清陵学院高等学校	「工業系中高一貫校の利点を生かした、中学生用 ロボット教材の開発とものづくりへの取り組み」	100,000円
	7		小林 国元 県立湯沢翔北高等学校	切削加工技術の研究	100,000円
合 計					10,830,000円

平成27年度 研究助成金助成校一覧 齋藤憲三奨励賞受賞校 ★特別賞 ●金賞 ◎銀賞 ●銅賞

区分	No.	賞	学 校 名	研 究 課 題	助 成 金
小 学 校	1	●	秋田市立旭北小学校 ひまわり研究会	「ひまわりの研究」	100,000円
	2	◎	大仙市立大曲小学校 曲小紙鍋班	紙鍋はなぜ燃えないのか	100,000円
	3	●	仙北市立西明寺小学校 「くりっこ サイエンスクラブ」	「金属輪の膨張に関する研究」	100,000円
	4		由利本荘市立石沢小学校 サイエンスクラブ	一晩おいたおでんはなぜおいしいのか？	100,000円
	5		にかほ市立平沢小学校 サイエンスクラブ 音声波形分析班	音のひみつをさぐる	100,000円
	6	●	にかほ市立象潟小学校 サイエンスクラブ	カキ殻の利用について調べよう	80,000円
	7		にかほ市立院内小学校 科学クラブ	「飴」を科学する	30,000円
	8	◎	にかほ市立上浜小学校 サイエンスクラブ	サクサクおいしいウエハースの研究	100,000円
	9		にかほ市立上郷小学校 サイエンスクラブ	奈曾川河川公園に生息する水生生物の研究Ⅱ	80,000円
	10		にかほ市立金浦小学校 科学クラブ	「植物が育つ」 不思議を探る	100,000円
中 学 校	1	●	由利本荘市立大内中学校 科学部	紙風船が語りかけるもの	150,000円
	2		由利本荘市立西目中学校 科学部	線香の燃え方 ～線香は時計代わりになるのか～	150,000円
	3	◎	にかほ市立金浦中学校 「根回り穴」の秘密追究委員会	「根回り穴」の秘密 セカンドシーズン 生命 説と反射・放射熱を追う	100,000円
	4	●	にかほ市立仁賀保中学校 理科部	仁賀保中の吹きだまりを科学する Part 2	150,000円
	5		大仙市立大曲中学校 科学部生物班	オオカナダモにデンプンが沢山できるには？ ～ Part IV～	150,000円
	6		大仙市立大曲中学校 科学部環境班	バイオエタノールの良い発生条件とは？ ～米ぬかを原料としての探究 Part. 4～	150,000円
	7		大仙市立西仙北中学校 生活文化部科学研究班	過冷却水のできる氷筍の形や高さの条件 Part3 ～大きな氷筍のできる液体の条件を探る～	150,000円
	8	◎	大仙市立中仙中学校 造形部・生物スケッチ班	トミヨ属雄物型が斉内川に生息するのはなぜか	150,000円
	9		美郷町立美郷中学校 総合科学部	トミヨ属雄物型の研究 Part. 4 ～ハリザッコを守るために～	150,000円
	10		横手市立横手明峰中学校 科学部	黒板をきれいに消すためには	150,000円
	11	●	横手市立横手南中学校 科学部	響け！ 省エネ拍手 ～拍手の原理と響きを変化させる条件は何か～	150,000円
	12		横手市立平鹿中学校 科学部	漬物の研究 ～麴の力～	150,000円
	13	◎	横手市立十文字中学校 科学部	米麴が甘酒になる瞬間の追究	150,000円
	14		県立横手清陵学院中学校 自然科学部野鳥班	横手市で集団繁殖するサギ類の研究 part 2	150,000円
	15		県立横手清陵学院中学校 自然科学部吸盤班	吸盤の研究	150,000円
高 校	1		県立大館鳳鳴高等学校 生物部	ヒトの虹彩色に着目した人類学的研究	200,000円

区分	No.	賞	学 校 名	研 究 課 題	助 成 金
高 校	2	◎	県立大館鳳鳴高等学校 化学部	脱塩処理による BDF 副生成物からのダーク油 合成	200,000円
	3		県立大館国際情報学院高等学校 科学部	秋田県北部における湧水の水質分布	200,000円
	4		県立能代高等学校 理数科2年課題研究 物理班	モデルロケットの製作および打ち上げ	200,000円
	5		県立能代高等学校 理数科2年課題研究 木材班	木材の強度	200,000円
	6		県立秋田北鷹高等学校 農業クラブ	比内地鶏去勢鶏（あきた北鷹ケイポン）のブ ランド化を目指して	200,000円
	7	●	県立秋田北鷹高等学校 科学部	R2（ロケット&ローバ）プロジェクト ～ファイナルステージ～	200,000円
	8		県立男鹿海洋高等学校 課題研究 資源増殖班	バテイラ種（ <i>Omphalius pfeifferi pfeifferi</i> :シタナ ミ）に適した好適環境水の精製と増殖方法の研究	200,000円
	9		県立男鹿海洋高等学校 課題研究 製作B班	ハタハタ雄・雌選別機の製作	200,000円
	10	◎	県立秋田中央高等学校 躍進探究部生物・物理班	動く植物オジギソウの謎にせまる	200,000円
	11		県立秋田中央高等学校 躍進探究部化学班	ビスマス結晶における不純物の影響について	200,000円
	12		県立秋田北高等学校 科学部（動物班）	ウミホタルの生態を解明する	200,000円
	13		県立秋田南高等学校 自然科学部・生活習慣病班	メダカを用いた生活習慣病の研究	200,000円
	14	◎	県立秋田南高等学校 自然科学部・香料班	香料の突然変異抑制効果に関する研究②	200,000円
	15		県立金足農業高等学校 科学部・ミツバチ研究班	ミツバチプロジェクト ～金農ハチミツの生産を目指して～	200,000円
	16		県立新屋高等学校 理科研究部	秋田県におけるセキレイ類の生態と分布の研究	200,000円
	17	●	県立由利工業高等学校 科学部	鳥海山をもとにした観天望気 Part 3	200,000円
	18		県立由利工業高等学校 ロボット研究部	エコカーにおけるエネルギー有効利用の研究	200,000円
	19		県立本荘高等学校 科学部光探究班	自作偏光板の製作・改良、その応用としての 液晶の探究	200,000円
	20		県立本荘高等学校 科学部材料探究班	陽極酸化被膜の応用 その2	200,000円
	21		県立大曲工業高等学校 D.K. Rockets	モデルロケットに関する研究Ⅲ	200,000円
	22		県立大曲農業高等学校 田沢湖水質改善研究チーム	田沢湖水を電気分解で中性化する時に発生する金属原 子の濃度の調査及び生物に対する影響に関する研究	200,000円
	23	●	県立増田高等学校 農業科学科作物（水田）専攻班	“みつけた！”秋田の秘密基地～水田から生み 出される天然甘味料の生産を目指して～	200,000円
	24		県立増田高等学校 農業科学科生物学専攻班	麴を利用した商品開発と地域活性化を目指して	200,000円
	25		県立横手高等学校 理数科課題研究化学班	液体の1滴の体積に及ぼす諸条件について	200,000円
	26	◎	県立横手高等学校 理数科2年地学班	温泉の研究 ～化学成分と地温分布に着目して～	200,000円
	27		県立横手清陵学院高等学校 総合技術科 情報通信技術研究班	災害時に「灯り」、「情報」、「暖かさ」をいち早く得るための技術 について～みんなの安心のために、身を守ることを科学する～	200,000円
	28	◎	県立横手清陵学院高等学校 自然科学部雪形班	秋田県鳥海山の雪形研究 －「眠る子どもの顔」の解明－	200,000円

区分	No.	賞	学 校 名	研 究 課 題	助 成 金
高 校	29		県立湯沢翔北高等学校 課題研究 ロボット班	サイズの異なるボールの取り込みと筒の上に 載せる機構を備えたロボットの製作	200,000円
	30		県立湯沢翔北高等学校 課題研究 制御班	シリンダを利用した制御の研究	200,000円
個 人	1		県立大曲工業高等学校 須田 宏	小学校・中学校における電気に関する出張授 業の実践に関する研究	150,000円
	2		秋田大学教育文化学部附属小学校 高橋 健一	「小学校理科における誤差や個人差の取り扱 いを手掛かりとした理科の授業改善」	150,000円
	3		県立秋田きらり支援学校 高橋 正義	どこでもスイッチ“O A K”で肢体不自由児の 生活を支援する～ Part 2～	100,000円
	4		県立由利工業高等学校 根守 潤	キレート滴定法における色の数値化とその活 用について	150,000円
	5		県立秋田南高等学校 遠藤 金吾	食品保存料ナイシンの有効的な利用方法につ いての研究（4）	150,000円
	6		県立湯沢翔北高等学校専攻科 小林 国元	フライスによる切削加工技術の研究	150,000円
合 計					9,940,000円

平成28年度 研究助成金助成校一覧 齋藤憲三奨励賞受賞校 ★特別賞 ●金賞 ◎銀賞 ●銅賞

区分	No.	賞	学校名・クラブ名	研 究 課 題	助 成 金
小 学 校	1		秋田市立旭北小学校 ザリガニ愛好会	ザリガニの研究	80,000円
	2		大仙市立大曲小学校 曲小指紋班	指紋の摩擦に関する研究	80,000円
	3	●	仙北市立西明寺小学校 「くりっこ サイエンスクラブ」	「給食のおつゆを運ぶとき なぜこぼれるの？」	80,000円
	4		由利本荘市立石沢小学校 サイエンスクラブ	肉をやわらかくするものは？ ～酵素についての研究～	80,000円
	5		由利本荘市立西目小学校 西目っこサイエンスクラブ	どの野菜も赤色と青色のLED光で早く育つのか	80,000円
	6	◎	にかほ市立平沢小学校 サイエンスクラブグリーンフラッシュ観測班	グリーンフラッシュのひみつをさぐる 2	80,000円
	7		にかほ市立象潟小学校 サイエンスクラブ	象潟の環境を探れ！パート I	80,000円
	8	●	にかほ市立院内小学校 科学クラブ	「発電の研究」	80,000円
	9		にかほ市立上郷小学校 サイエンスクラブ	そば打ちを科学する	80,000円
	10		にかほ市立金浦小学校 科学クラブ	「植物が育つ」リポベジプロジェクト	30,000円
中 学 校	1	★	由利本荘市立大内中学校 科学部	紙風船が語りかけるもの（本編）	120,000円
	2	●	由利本荘市立大内中学校 科学部カブトムシ博士	カブトムシと環境のつながり	120,000円
	3	◎	由利本荘市立西目中学校 科学部着水音研究班	着水音の科学	120,000円
	4		由利本荘市立西目中学校 科学部餅保存法研究班	柔らかさを長餅	120,000円
	5		にかほ市立仁賀保中学校 理科部	文房具の不思議を科学する ～消せるボールペンの謎を解きながら～	120,000円
	6		仙北市立角館中学校 科学部	「溶岩の流れ方の観察」～防災とからめての観察	120,000円
	7		大仙市立大曲中学校 科学部	メダカの生態～たくさん繁殖させるには～	120,000円
	8		大仙市立西仙北中学校 生活文化部科学研究班	ひまわり しんび 日向葵の神秘を探る ひまわり こうじつせい ～日向葵の向日性の謎に迫る～	120,000円
	9	●	大仙市立中仙中学校 造形部・生物スケッチ班	トミヨ属雄物型が斉内川に生息できるのはなぜか Part II	120,000円
	10		美郷町立美郷中学校 総合科学部	トミヨ属雄物型の研究 Part. 5	120,000円
	11		横手市立横手明峰中学校 科学部	黒板をきれいに消すためには part 2	120,000円
	12		横手市立横手南中学校 科学部	納豆菌パワーの秘密を探れ！！ ～納豆の過去・現在・未来～	120,000円
	13		秋田県立横手清陵学院中学校 自然科学部	人間の記憶力の研究	120,000円
高 学 校	1		秋田県立大館鳳鳴高等学校 生物部	東北地方のヒトの虹彩色の違いに着目した人類学的研究	150,000円
	2	●	秋田県立大館鳳鳴高等学校 化学部	新規ピリジン誘導体を用いた色素増感太陽電池の機能	130,000円
	3		秋田県立花輪高等学校 野菜ロケット班	野菜ロケットを用いたカタラーゼ酵素量の測定とその反応条件について	100,000円

区分	No.	賞	学校名・クラブ名	研究課題	助成金
高 校	4	◎	秋田県立大館国際情報学院高等学校 科学部	秋田県北部に分布する湧水の研究Ⅱ	150,000円
	5		県立能代高等学校 理数科2年課題研究 物理班	モデルロケットの製作および打ち上げ	100,000円
	6	●	県立秋田北鷹高等学校 課題研究班	マイヅルテンナンショウの生育環境適地調査と 遺伝子調査	100,000円
	7		秋田県立秋田北鷹高等学校 科学部	家庭の温室効果ガス削減へ！ 太陽熱を活用した「生ごみ乾燥装置」の開発	150,000円
	8		秋田県立男鹿海洋高等学校 課題研究 資源増殖班	バテイラ種 (Omphalius pfeifferi pfeifferi:シタナミ)に 適した好適環境水の精製と増殖方法の研究 Part2	130,000円
	9		秋田県立男鹿海洋高等学校 課題研究 製作B班	ハタハタ雄・雌選別機の製作 Part 2	150,000円
	10	◎	秋田県立秋田中央高等学校 躍進探究部生物班	動く植物オジギソウの謎にせまる ー学習行動と反応調節のメカニズムについてー	150,000円
	11		秋田県立秋田中央高等学校 躍進探究部化学班	欠けた結晶はどう修復されるのか	130,000円
	12	●	秋田県立秋田北高等学校 数理探究クラスF組 動物班	ウミホタルの生態を解明する	150,000円
	13		秋田県立秋田北高等学校 数理探究クラスF組 植物班	植物の成長促進と生理活性の活用についての基 礎実験	150,000円
	14		秋田県立秋田高等学校 理数科課題研究生物班	食品保存料ナイシンの有効的な利用方法につい ての研究	130,000円
	15		秋田県立秋田高等学校 生物部がん研究班	突然変異抑制効果を持つ物質の探索に関する研究	150,000円
	16		秋田県立秋田南高等学校 自然科学部脱臭研究班	コーヒー豆による脱臭効果の研究	130,000円
	17		県立秋田南高等学校 自然科学部生活習慣病班	メダカを用いた生活習慣病の研究②	150,000円
	18		秋田県立金足農業高等学校 科学部・ミツバチ研究班	ミツバチプロジェクト ～金農ハチミツの生産を目指して～	150,000円
	19	●	秋田県立新屋高等学校 理科研究部	秋田県におけるセキレイ類の生態と分布の研究②	150,000円
	20		秋田県立由利工業高等学校 科学部	星の瞬きの数値化と観天望気	130,000円
	21	●	秋田県立由利工業高等学校 ロボット研究部	塩ビ管のレール上を走行する自立型ロボットの研究	150,000円
	22	◎	秋田県立本荘高等学校 光探究班	コレステリック液晶の色相についての研究	130,000円
	23		秋田県立本荘高等学校 生命探求班	カビの発育条件と阻害方法	150,000円
	24		秋田県立大曲工業高等学校 環境データ無線送受信研究グループ	環境データの無線送受信に関する研究Ⅰ	100,000円
	25		秋田県立大曲工業高等学校 ドローン研究グループ	ドローンに関する研究Ⅰ	100,000円
	26		秋田県立大曲農業高等学校 太田分校 GLクラブ(グリーンライフ)	特別栽培米及び無農薬野菜太田分校版の栽培法 確立に向けての研究	150,000円
	27		秋田県立大曲農業高等学校 生物工学部	電気分解後の田沢湖水中に含まれる金属イオンの 吸着方法についての研究	150,000円
	28		秋田県立増田高等学校 水田プロジェクト班	秋田県における穀物由来の酵素開発とその利用 について	130,000円
	29		秋田県立増田高等学校 果樹研究G P	アキタゴールド (リンゴ) に関する研究 ～幻のリンゴ復活を目指して～	150,000円
	30		秋田県立横手高等学校 理数科2年地学班	湧き水の研究 ～水質と地質に着目して～	150,000円
	31		秋田県立横手清陵学院高等学校 メカトロ部	段差昇降を行う移動ロボットの研究・製作	150,000円

区分	No.	賞	学校名・クラブ名	研 究 課 題	助 成 金
高 校	32		秋田県立横手清陵学院高等学校 自然科学部／探究VERA班	電波望遠鏡 VERA によるレーザー天体の効率的な探索法	130,000円
	33		秋田県立湯沢翔北高等学校 課題研究 ロボット班	異なる形状の物を取り込み、高さのある台の上に載せる機構を備えたロボットの製作	100,000円
	34	◎	秋田県立湯沢翔北高等学校 課題研究 制御班	P I D制御の研究	100,000円
個 人	1		須田 宏 県立大曲工業高等学校	小学校・中学校における電気に関する出張授業の実践に関する研究	100,000円
	2		高橋健一 秋田大学教育文化学部附属小学校	「小学校理科における誤差や個人差の取り扱いを手掛かりとした理科の授業改善」	100,000円
	3		高橋 正義 県立秋田きらり支援学校	どこでもスイッチ“O A K”で肢体不自由児の生活を支援する～ Part 2 ～	70,000円
	4		根守 潤 県立由利工業高等学校	キレート滴定法における色の数値化とその活用について	70,000円
	5		遠藤 金吾 県立秋田南高等学校	食品保存料ナイシンの有効的な利用方法についての研究（4）	60,000円
	6		小林 国元 県立湯沢翔北高等学校専攻科	フライスによる切削加工技術の研究	60,000円
	7		渡邊 義典 秋田県立湯沢翔北高等学校	汎用旋盤による切削加工技術の研究	60,000円
合 計					7,400,000円

[別表] 研究助成状況① (昭和47年度～平成15年度)

区 分	小 学 校			中 学 校			高 等 学 校			特 別 支 援 学 校			教 職 員		団 体 ・ 他		合計金額	助成校数	助成件数	参加人員
	校 数	金 額	参加人員	校 数	金 額	参加人員	校 数	金 額	参加人員	校 数	金 額	参加人員	人 員	金 額	数	金 額				
昭和47年度	校 3	万円 90	人 21	校 3	万円 120	人 36	校 1	万円 50	人 8				人	万円		万円	万円 260	7	7	65
昭和48年度	9	90	86	6	120	78	2	50	26								260	17	17	190
昭和49年度	8	80	102	6	120	86	3	75	46				7	55	1	10	340	25	25	241
昭和50年度	8	80	105	8	120	85	2	50	50				8	70			320	26	26	248
昭和51年度	6	60	106	6	90	76	2	50	36				11	100			300	25	25	229
昭和52年度	9	90	112	7	105	91	2	50	18				8	90			335	26	26	229
昭和53年度	4	40	109	5	75	79	2	50	43				8	85			250	19	19	239
昭和54年度	10	100	139	10	150	134	3	75	38				5	60			385	28	28	316
昭和55年度	16	160	179	11	165	152	1	25	34				5	70			420	33	33	370
昭和56年度	19	190	248	16	240	337	3	75	52				5	50	1	100	655	44	44	642
昭和57年度	11	110	139	10	150	94	2	50	51				7	90	1	30	430	31	31	291
昭和58年度	16	160	185	10	150	177	2	50	39				7	100	2	73	533	37	37	408
昭和59年度	18	180	255	13	195	185	3	70	46				5	80	4	105	630	43	43	491
昭和60年度	20	200	353	17	255	185	2	50	39				5	70			575	44	44	582
昭和61年度	19	190	221	15	225	207	3	75	60				5	75	1	100	665	43	43	493
昭和62年度	18	180	367	10	150	95	5	125	91				6	90			545	39	39	559
昭和63年度	18	180	271	10	150	100	3	75	59				3	60	3 特別 1	90 200	755	38	38	433
平成元年度	18	180	240	9	128	89	3	75	36				2	20	1 特別 1	50 200	653	34	34	367
平成 2 年度	17	170	273	13	195	150	2	40	21				3	55	特別 1	200	660	36	36	447
平成 3 年度	23	230	358	7	105	78	2	50	42				4	80	特別 1	200	665	37	37	482
平成 4 年度	24	240	324	23	340	323	9	225	65	2	35	15	2	45	大学 1	400	1,285	61	61	729
平成 5 年度	14	140	188	12	180	127	4	100	65	1	20	4	2	50	大学 1	400	890	34	34	386
平成 6 年度	25	250	295	17	255	202	7	175	117	2	25	21	1	20	大学 1	400	1,125	53	53	636
平成 7 年度	19	190	245	13	195	179	7	175	89				1	20	大学 1	400	980	41	41	514
平成 8 年度	21	310	277	15	225	215	8	184	99				1	20	大学 1	400	1,139	46	46	592
平成 9 年度	20	200	208	13	195	100	7	161	68	2	30	35			大学 1	400	986	43	43	411
平成10年度	32	320	411	14	210	192	4	92	45	1	15	34			大学 1	400	1,037	52	52	682
平成11年度	19	190	284	13	195	127	2	46	21						大学 1	400	831	35	35	432
平成12年度	12	113	161	14	210	223	5	115	39	2	30	42			大学 2	500	968	35	35	465
平成13年度	18	179	306	15	223	156	6	138	103						大学 2	480	1,020	41	41	565
平成14年度	13	130	210	17	255	231	5	115	38				1	20	大学 2	250	770	38	38	480
平成15年度	11	106	132	18	262	193	6	121	43				1	20			509	36	36	369

[別表] 研究助成状況② (平成16年度～平成28年度)

区 分	小 学 校			中 学 校			高 等 学 校			特 別 支 援 学 校			教 職 員		団 体 ・ 他		合計金額	助成校数	助成件数	参加人員	
	校 数	金 額	参加人員	校 数	金 額	参加人員	校 数	金 額	参加人員	校 数	金 額	参加人員	人 員	金 額	数	金 額					
平成16年度	校 11	万円 106	人 127	校 15	万円 240	人 151	校 5	万円 120	人 38	校	万円	人	人 1	万円 20		万円	万円 486	32	32	317	
平成17年度	11	118	138	14	216	199	4	99	40				1	20			453	30	30	378	
平成18年度	12	127	135	13	195	149	7	169	42								491	32	32	326	
平成19年度	11	111	262	13	210	131	7	170	42				1	20			511	32	32	436	
平成20年度	15	157	322	11	179	131	8	200	63				4	80			616	38	38	520	
平成21年度	11	113	297	12	197	112	9	315	159				5	80			705	37	41	573	
平成22年度	13	133	389	14	240	138	12	390	158				1	10			773	40	48	686	
平成23年度	10	101	135	14	233	119	13	437	198				1	20			791	38	49	453	
平成24年度	9	91	95	13	209	140	17	582	282				1	20			902	40	48	518	
平成25年度	8	82	96	13	256	147	16	648	301				3	60			1,046	40	53	547	
平成26年度	11	104	163	16	250	176	20	659	359				7	70			1,083	54	68	705	
平成27年度	10	89	116	13	220	137	18	600	278				6	85			994	47	61	537	
平成28年度	10	75	123	11	156	145	21	457	282				7	52			740	42	64	557	
合 計	640	6,435	9,308	548	8,553	6,657	275	7,703	3,869	10	155	151	151	2,032	14	18	558 5,230	30,666	1,473	1,743	20,136

